BOSE

QUIETCOMFORT EARBUDS

安全上の留意項目および使用方法をよく読み、それに従ってください。

Bose Corporationは、この製品がEU指令2014/53/EUおよび該当するその他すべてのEU指令の必須要件およびその他の該当条項に準拠していることを宣言します。完全な適合宣言書については、次のサイトを参照してください。www.Bose.com/compliance

この製品は、すべての適用される電磁両立規則2016およびその他すべての適用される英国の規制に準拠しています。完全な適合宣言書については、次のサイトを参照してください。www.Bose.com/compliance

Bose Corporationはここに、この製品が無線機器規則2017の必須要件およびその他すべての適用される英国の規制に準拠していることを宣言します。完全な適合宣言書については、次のサイトを参照してください。www.Bose.com/compliance

安全上の留意項目

お手入れは乾いた布を使用して行ってください。

必ず指定された付属品、あるいはアクセサリーのみをご使用ください。

修理が必要な際には、Boseカスタマーサービスにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、たとえば電源コードやプラグの損傷、液体や物の内部への侵入、雨や湿気などによる水濡れ、動作の異常、製品本体の落下などの際には、直ちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。

警告/注意

- 誤って飲み込まないように、本製品はお子様やペットが触れない場所に置いてください。本製品にはバッテリーが内蔵されているため、飲み込むと事故につながる恐れがあります。飲み込んでしまった場合は、すぐに医師の診断を受けてください。使用していないときは、本製品をお子様やペットの手の届かないところに保管してください。
- 本製品はお子様のご使用を想定していません。
- 耳への負担を避けるため、ヘッドホンを大音量で使用しないでください。再生機器の音量を下げてからヘッドホンを耳に装着し、快適な適度な音量になるまで少しずつ音量を上げてください。
- 車両の運転中にヘッドホンを使用することは推奨されません。一部の国や地域では法律で禁止されている場合があります。運転中のヘッドホンの使用については十分な注意を払い、適用される法律に従ってください。ヘッドホンの使用により、注意力が低下する場合や、自動車の運転中にアラームや警告音など周囲の音が聞き取れなく場合は、直ちに使用を中止してください。
- ヘッドホンを使用しながら、注意力が求められる活動をする場合は、注意してください。車道、建設現場、線路などの付近を歩いているときなど、外部音がはっきり聞こえないことによって自身や他の人に危険が生じる可能性がある場合は、ヘッドホンを使用しないでください。
- イヤホンから異常な音が聞こえる場合は、イヤホンを使用しないでください。そのような場合は、イヤホンを外してBoseカスタマーサービスにご連絡ください。
- 本製品を水に沈めたり、長時間水にさらしたりしないでください。
- 製品から熱が発生していることに気づいたら、すぐに外してください。

⚠ WARNING

- **INGESTION HAZARD:** This product contains a button cell or coin battery.
- **DEATH** or serious injury can occur if ingested.
- A swallowed button cell or coin battery can cause **Internal Chemical Burns** in as little as **2 hours.**
- **KEEP** new and used batteries **OUT OF REACH of CHILDREN**
- **Seek immediate medical attention** if a battery is suspected to be swallowed or inserted inside any part of the body.

- 使用済みの電池は、取り外して直ちにリサイクルするか、地域の規則に従って廃棄してください。また、お子様の手の届かないところに置いてください。電池を家庭用ゴミ箱に捨てたり、焼却したりしないでください。
- 使用済みの電池であっても、重傷を負ったり死亡したりする恐れがあります。
- 治療法については、最寄りの毒物管理センターにお問い合わせください。
- 電池の強制放電や、再充電、分解、85℃以上の加熱、焼却はしないでください。ガス漏れ、液漏れ、爆発により、怪我をしたり化学やけどを負ったりする恐れがあります。
- 非充電式電池は充電しないでください。
- この製品には交換不可能なバッテリーが使用されています。
- 電池/バッテリータイプ: 1254PF4F または M1254A6 | 公称バッテリー電圧: 3.85VDC

のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。

この製品には磁性材料が含まれています。体内に埋め込まれている医療機器への影響については、医師にご相談ください。

- 許可なく製品を改造しないでください。
- 火気や熱源などの近くで使用しないでください。火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。
- 付属のイヤーチップを取り付けずにイヤホンを使用しないでください。
- この製品には、法令(UL、CSA、VDE、CCCなど)に準拠したLPS電源アダプターのみをお使いください。
- 本製品に付属の電池/バッテリーは、取り扱いを誤ったり、正しく交換しなかったり、誤ったタイプの電池/バッテリーと交換したりすると、火災や爆発、化学やけどなどの原因になる恐れがあります。
- 電池/バッテリーが含まれる製品を直射日光や炎など、過度な熱にさらさないでください。
- 充電する前に、イヤホンと充電ケースから汗を拭き取ってください。
- IPX4は永続的なものではなく、通常の使用によって防水性能が低下する場合があります。
- 製品内部の部品から危険なレーザーが放出されるのを防ぐため、指示に従って本製品を使用してください。イヤホンの調整または修理は、必ず資格を持つサービス担当者にお任せください。
- 暖炉、ラジエーター、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発する装置(アンプを含む)の近くには設置しないでください。
- Laser Notice 56 (2019年5月8日)に記載されているIEC 60825-1 Ed.3への準拠を除き、21 CFR 1040.10および1040.11に準拠しています。

本製品は、EN 50689:2021およびIEC 60825-1:2014に基づき、クラス1消費者向けレーザー製品に分類されています。

注: 本機は、FCC規則のパート15に定められたクラスBデジタル装置の規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに準拠することが確認されています。この規制要件は、住宅に設置した際の有害な干渉に対し、合理的な保護となるように策定されています。本機は無線周波数エネルギーを発生、利用、また放射することがありますので、指示どおりに設置および使用されない場合は、無線通信に有害な電波干渉を引き起こす可能性があります。しかし、特定の設置条件で干渉が発生しないことを保証するものではありません。本機が、電源のオン・オフによりラジオ・テレビ受信に有害な干渉を引き起こしていると確認された場合、次の1つ あるいはいくつかの方法で対処を試みることをおすすめします。

- 受信機やアンテナの向きや位置を変える。
- 機器と受信機の間隔を広げる。
- 受信機の接続されているコンセントとは別の回路のコンセントに本機を接続する。
- 販売店もしくは経験豊富なラジオ・テレビ技術者に相談する。

Bose Corporationによって明確な許諾を受けていない本製品への変更や改造を行うと、この機器を使用するユーザーの権利が無効になります。

このデバイスは、FCC規則のパート15およびカナダ イノベーション・科学経済開発省のライセンス適用免除RSS規則に準拠しています。動作は次の2つの条件に従う必要があります: (1) 本装置は有害な干渉を引き起こしません。(2) 本装置は、不適切な動作を招く可能性がある干渉を含め、いかなる干渉も対応できなければなりません。

このデバイスは、FCCおよびカナダ イノベーション・科学経済開発省が一般用途向けに定めた電磁波放出制限に準拠しています。このトランスミッターは、他のアンテナまたはトランスミッターと一緒に配置したり、動作させたりしないでください。

FCC ID: A94318 | **IC**: 3232A-318 | **ケースの型番**: 442318 | **右イヤホンの型番**: 318R | **左イヤホンの型番**: 318L

R 020-240145

CAN ICES-3(B)/NMB-3(B)

ヨーロッパ向け: 運用周波数帯: 2400 ～ 2483.5 MHz | 最大送信出力20 dBm EIRP未満 |
運用周波数帯: 111 kHz ～ 148 kHz | 最大送信出力37.7 dBuA/m未満

EUの比吸収率(SAR)に関する情報

イヤホン	測定値 1-g SAR W/kg	測定値 10-g SAR W/kg
左	0.970	0.190
右	0.590	0.150

韓国電磁波吸収等級マークについては、www.Bose.com/complianceをご参照ください。

この記号は、製品が家庭ごみとして廃棄されてはならず、リサイクル用に適切な収集施設に送る必要があることを意味しています。適切な廃棄とリサイクルにより、自然資源、人体の健康、環境が保護されることになります。本製品の廃棄およびリサイクルに関する詳細は、お住まいの自治体、廃棄サービス、または本製品を購入された店舗にお問い合わせください。

低電力無線デバイスに関する技術規則

会社、企業、またはユーザーは、NCCの許可なく、承認済みの低電力無線デバイスの周波数を変更したり、送信出力を強化したり、元の特性および性能を改変したりすることはできません。低電力無線デバイスが、航空機の安全に影響を及ぼしたり、正規の通信を妨害したりすることはできません。発見された場合、ユーザーは干渉が発生しなくなるまで直ちに使用を中止しなければなりません。上述の正規の通信とは、電気通信管理法に基づいて運用される無線通信を意味します。低電力無線デバイスは、正規の通信またはISM帯電波を放射するデバイスからの干渉に対応できなければなりません。

この製品からリチウムイオンバッテリーを取り外さないでください。取り外しはサービス担当者にお任せください。

廃電池請回収 **使用済みの電池は、お住まいの地域の条例に従って正しく処分してください**。焼却しないでください。

Li-ion NOM NYCE R33807 RoHS R-C-Bos-318 R-R-Bos-442318 보스코리아 유한회사

有毒/有害物質または成分の名称および含有量						
	有毒/有害物質および成分					
パーツ名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (CR(VI))	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)
PCB	X	O	O	O	O	O
金属パーツ	X	O	O	O	O	O
プラスチックパーツ	O	O	O	O	O	O
スピーカー	X	O	O	O	O	O
ケーブル	X	O	O	O	O	O
この表はSJ/T 11364の規定に従って作成されています。 O: このパーツに使用されているすべての均質物質に含まれている当該有毒/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を下回っていることを示します。 X: このパーツに使用されている1種類以上の均質物質に含まれている当該有毒/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を上回っていることを示します。						

機器名: イヤホンおよび充電ケース**型式**: 442318						
	制限される物質および化学記号					
ユニット名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (Cr^{+6})	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)
PCB	-	○	○	○	○	○
金属パーツ	-	○	○	○	○	○
プラスチックパーツ	○	○	○	○	○	○
スピーカー	-	○	○	○	○	○
ケーブル	-	○	○	○	○	○
注1:「○」は、制限される物質のパーセント含有量が、参照値のパーセントを超えていないことを示します。 **注2**:「–」は、制限される物質が免除に該当することを示します。						

製造日: シリアル番号の8桁目の数字は製造年を表します。「4」は2014年または2024年です。| **製造場所**: シリアル番号の7桁目の数字は製造場所を表します。

輸入元: Bose Electronics (Shanghai) Company Limited, Level 6, Tower D, No. 2337 Gudai Rd. Minhang District, Shanghai 201100 | Bose Products B.V., Gorslaan 60, 1441 RG Purmerend, The Netherlands | Bose de México S. de R.L. de C.V., Avenida Prado Sur #150, Piso 2, Interior 222 y 223, Colonia Lomas de Chapultepec V Sección, Miguel Hidalgo, Ciudad de México, C.P. 11000 電話番号: +5255 (5202) 3545 | Bose Limited (H.K.), 7F., No. 2, Sec.3, Minsheng E. Road, Zhongshan Dist., Taipei City 10480, 電話番号: +886-2-2514 7676 | Bose Limited, Bose House, Quayside Chatham Maritime, Chatham, Kent, ME4 4QZ, United Kingdom

入力定格 - 充電ケース: 5VDC、0.65A | **出力電圧**: 5VDC | **出力電流**: 75mA x2 | **出力容量**: 300mAh | **IPXX保護等級**: IPX4 (イヤホン)

入力定格 - 左イヤホン: 5VDC、0.075A | **入力定格 - 右イヤホン**: 5VDC、0.075A

モデル: 442318。CMIIT IDはカートンにあります。

本製品には**Boseの利用条件**が適用されます: worldwide.bose.com/termsofuse

ライセンス開示情報: Bose QuietComfort Earbudsのコンポーネントとして含まれるサードパーティ製ソフトウェアパッケージに適用されるライセンスの開示内容を表示するには、QCEアプリを使用します。このオプションは設定メニューから設定できます。

Apple、Appleのロゴ、iPad、およびiPhoneはApple Inc.の商標であり、アメリカ合衆国および他の国々で登録されています。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき日本で使用されています。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。

Made for Appleバッジの使用は、アクセサリーがバッジに記載されているApple製品への接続専用に設計され、Apple社が定める性能基準に適合しているとデベロッパによって認定されていることを示します。Apple社は、本製品の動作や、安全性および規制基準の適合性について、一切の責任を負いません。

*Bluetooth®*のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標で、Bose Corporationはこれらの商標を使用する許可を受けています。

AndroidおよびGoogle PlayはGoogle LLCの商標です。

Microsoft TeamsはMicrosoftグループの商標です。

USB Type-C®およびUSB-C®は、USB Implementers Forumの登録商標です。

Bose、Bのロゴ、およびQuietComfortは、Bose Corporationの商標です。| Bose Corporation Headquarters: 1-877-230-5639 | ©2024 Bose Corporation.本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。

製品情報の控え

イヤホンの日付コードはイヤホンのバンドの下に記載されています。充電ケースのシリアル番号はケースの底面にあります。モデル番号は充電ケースの底面に記載されています。

シリアル番号: _____
モデル番号: 442318

ご購入時の領収書を保管することをおすすめします。製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイト(worldwide.Bose.com/ProductRegistration)から簡単に行えます。

内容物の確認

内容物 11

BOSE QCE アプリのセットアップ

Bose QCE アプリをダウンロードする 12

防水性能 13

装着方法

イヤホンを装着する 14
フィット状態をチェックする 15
　　イヤーチップ 15
　　固定バンド 16
別のサイズを試す 17
　　イヤーチップ 17
　　固定バンド 17
イヤーチップを交換する 18
固定バンドを交換する 19

電源

電源オン 21
　　イヤホンの使用中 21
電源オフ 22
　　イヤホンの使用中 22
スタンバイ 23

タッチコントロール

メディアの再生 24
音量 25
通話 25
通話をミュートする 26
着信の通知 26
サイドトーン 26
タッチコントロールのカスタマイズ 26

音声コントロール

音声コントロールを使用する 27
音声コントロールをカスタマイズする 28
音声コントロールを無効にする 28

オーディオコントロール

低遅延オーディオ 29
低音と高音を調整する 29

装着検出

自動再生/一時停止 30
着信自動応答 30
ノイズキャンセリングの自動オフ機能 30

ノイズキャンセリング

ノイズキャンセリングモード 31
ノイズキャンセリング機能のモード変更 31
ノイズキャンセリング機能のみを使用する 32

バッテリー

イヤホンを充電する 33
充電ケースを充電する 34
　ワイヤレス充電 34
イヤホンの充電状態を確認する 35
　イヤホンの使用中 35
　イヤホンの充電中 35
充電ケースのバッテリー残量を確認する 36
充電時間 37

ステータス

バッテリー残量 38
　充電ケース(イヤホンなし) 38
　イヤホン 38
充電状態 39
　充電ケース(イヤホンなし) 39
　イヤホン 39

BLUETOOTH® 接続

機器に接続する 40
追加の機器を接続する 41
機器に再接続する 41
接続されている2台の機器を切り替える 41
機器の接続を解除する 42
イヤホンのデバイスリストを消去する 43

補足事項

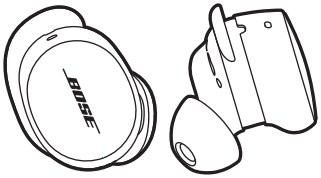
イヤホンを保管する 44
イヤホンと充電ケースのお手入れ 44
交換部品とアクセサリー 44
保証 44
イヤホンをアップデートする 45
イヤホンの日付コードを確認する 45
充電ケースのシリアル番号を確認する 45

トラブルシューティング

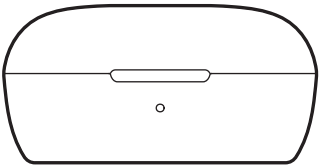
最初にお試しいただくこと 46
その他の対処方法 46
イヤホンを再起動する 55
イヤホンを出荷時の設定に戻す 55

内容物

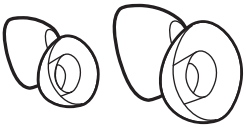
下図の内容物がすべて同梱されていることを確認してください。



Bose QuietComfort Earbuds



充電ケース

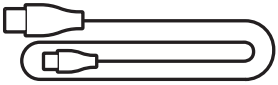


イヤーチップ(SサイズおよびLサイズ)

注: Mサイズのイヤーチップはイヤホンに取り付けられています。イヤーチップのサイズを確認する方法は、17ページをご覧ください。

固定バンド(サイズ2および3)

注: サイズ1のバンドはイヤホンに取り付けられています。バンドのサイズを確認する方法は、17ページをご覧ください。



USB Type-C® - USB-Aケーブル

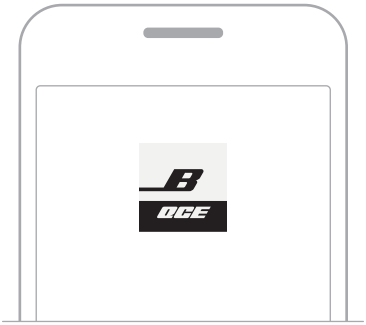
注: 万が一、開梱時に内容物の損傷や欠品などが見られた場合は、使用しないでください。トラブルシューティング情報(記事、ビデオ)と製品の修理や交換については、support.Bose.com/QCEをご参照ください。

Bose QCEアプリを使用すると、スマートフォンからイヤホンのセットアップや操作を行うことができます。

このアプリを使用して、*Bluetooth*接続の管理、イヤホンの設定の管理、音量の調節、音声ガイドの言語の変更、スマートフォンのカメラを音声で操作するためのイヤホンの設定、Boseが今後提供するアップデートや新機能の適用を行うことができます。

BOSE QCEアプリをダウンロードする

1. お使いの機器でBose QCEアプリをダウンロードします。



Download on the App Store　GET IT ON Google Play

イヤホンの接続を促すメッセージが表示されます。

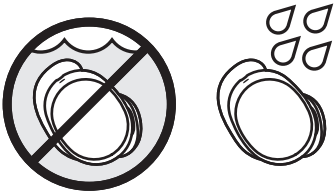
2. 機器の*Bluetooth*メニューを使ってイヤホンを接続します(40ページを参照)。

3. イヤホンが接続されたら、アプリの指示に従ってイヤホンをBose QCEアプリに追加します。

イヤホンはIPX4 (生活防水)規格に適合しており、汗や悪天候の影響を受けにくいように設計されていますが、水に浸かった状態における防水性能はありません。

注意:

- イヤホンを装着したまま泳いだりシャワーを浴びたりしないでください。
- イヤホンを水に沈めないでください。



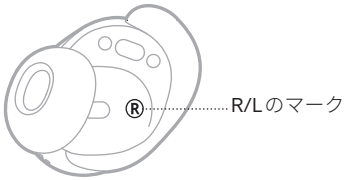
注:

- 腐食を防ぐために、イヤホンの充電用接点を乾いた柔らかい綿棒や同等品で定期的に清掃してください。
- IPX4は永続的なものではなく、通常の使用によって防水性能が低下する場合があります。

イヤホンを装着する

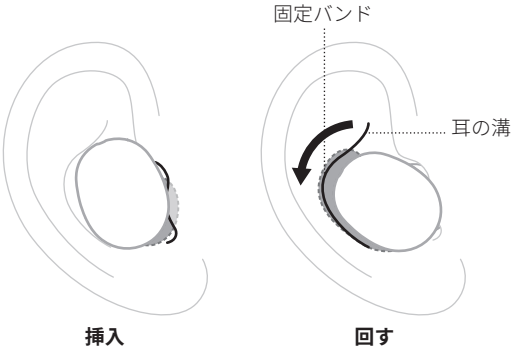
1. イヤーチップが耳にやさしく収まるようにイヤホンを耳に差し込みます。

   注: イヤホンにはそれぞれ、**R** (右) または **L** (左) のマークが付いています。



2. イヤホンを少し後ろに回して、イヤーチップを耳の入り口にフィットさせ、固定バンドが耳の溝に収まるようにして、快適な状態で耳をふさぎます。

   注: イヤーチップが快適な状態でしっかりと耳をふさぐようにするには、イヤホンを前後に回転させる必要があるかもしれません。ただし、前後に回しすぎると、イヤホンやマイクの音質が損なわれる場合があります。



3. フィット状態をチェックします(15ページを参照)。

4. 手順1から3を繰り返して、もう1個のイヤホンも装着します。

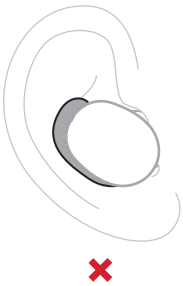
フィット状態をチェックする

最高のフィット感と音響性能を実現し、ノイズキャンセリング効果を最大にするため、鏡を使って、使用しているイヤーチップと固定バンドのサイズが適切かどうか確認してください。左右の耳で異なるサイズのイヤーチップや固定バンドを試す必要があるかもしれません。

イヤーチップ

サイズを選ぶ	チェック方法	
適切なフィット		イヤーチップは耳にやさしく収まり、快適な状態でしっかりと耳をふさいでいます。周囲のノイズがこもって聞こえるはずです。 **注:** ノイズキャンセル機能により、こもったノイズが聞こえにくくなる場合があります。
圧迫が強すぎる		イヤーチップが耳の入り口でつぶれているような違和感があります。
ゆるすぎる		イヤーチップが耳の穴に深く入ってゆるく感じ、頭を動かしたときに抜けてしまいます。

固定バンド

サイズを選ぶ	チェック方法	
適切なフィット		バンドが突き出たり、耳の溝で押しつぶされたりしていません。
大きすぎる		バンドが突き出たり、耳の溝で押しつぶされたりしています。
小さすぎる		バンドが耳の溝に届いていません。

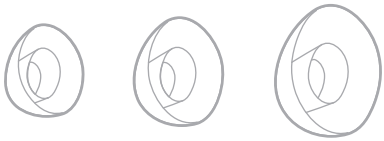
別のサイズを試す

イヤホンを長時間装着してみます。イヤホンが耳にぴったりとフィットしていない場合や、音質が期待どおりでない場合は、別のサイズのイヤーチップや固定バンドを試してみてください。

イヤーチップやバンドは、3つのサイズをすべて試すか、左右で異なるサイズを使うことが必要になる場合もあります。

イヤーチップ

イヤホンには、S、M、Lの3種類のイヤーチップが付属しています。



Mサイズのイヤーチップはイヤホンに取り付けられています。小さすぎると感じる場合は、Lサイズのイヤーチップをお試しください。大きすぎると感じる場合は、Sサイズのイヤーチップをお試しください。

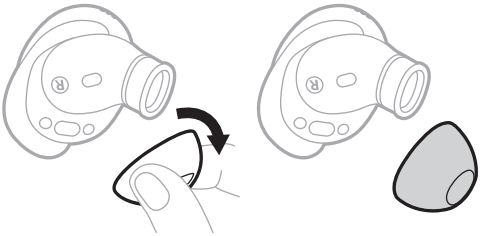
固定バンド

固定バンドには、サイズ**1** (S)、**2** (M)、**3** (L)のマークと、**R** (右)または**L** (左)のマークが付いています。

サイズ1のバンドはイヤホンに取り付けられています。小さすぎると感じる場合は、サイズ2のバンドをお試しください。

イヤーチップを交換する

1. イヤホンを持ち、イヤーチップをやさしく押しつぶして、剥がすようにしてイヤホンから取り外します。

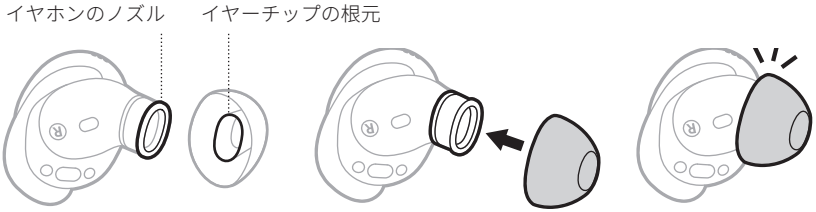


ひねって剥がす **取り外す**

注意: 縁を引っ張って、イヤーチップを破かないようにしてください。

2. 新しいイヤーチップのサイズを選択します(17ページを参照)。

3. 楕円形のイヤホンのノズルを楕円形のイヤーチップのベースに合わせ、イヤーチップをノズルにかぶせて、カチッと音がしてしっかりと固定されるまでイヤーチップを静かに押し下げます。



合わせる **スライド** **押す**

注: イヤホンとイヤーチップの楕円形の開口部が同じ方向を向いていることを確認してください。

4. 必要に応じて、もう一方のイヤホンでも手順1～3を繰り返します。

注: 左右の耳で異なるサイズのイヤーチップが必要な場合もあります。

5. イヤホンを装着します(14ページを参照)。

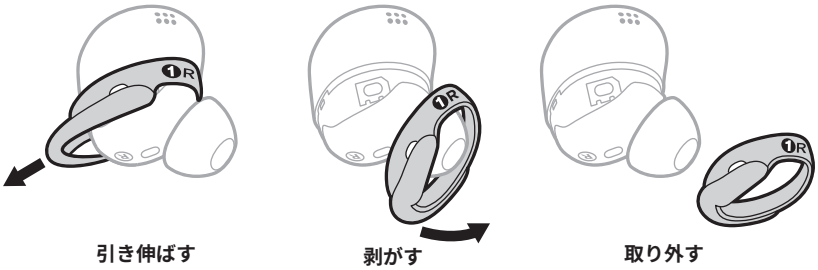
6. フィット状態をチェックします(15ページを参照)。

注:

- イヤーチップを交換した場合は、固定バンドが耳の溝に収まって快適な状態で耳をふさぐように、固定バンドを交換する必要があるかもしれません(19ページを参照)。
- イヤーチップの交換に関する解説ビデオは次のサイトをご参照ください。support.Bose.com/QCE

固定バンドを交換する

1. イヤホン本体を持ち、固定バンドのウィング部分をそっとつまみ、バンドを手前に剥がしてイヤーチップから抜き取り、イヤホン本体から取り外します。



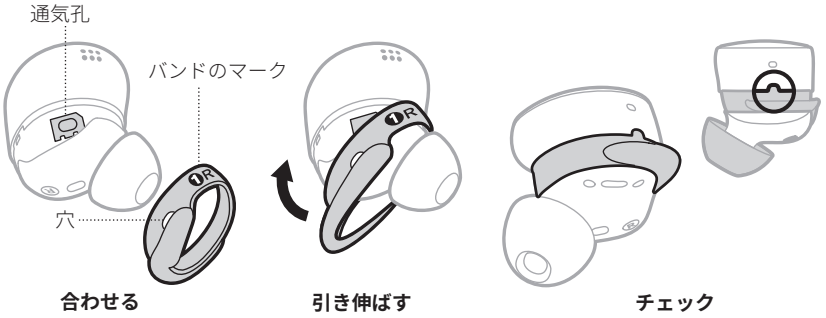
注意: 薄い部分を引っ張って、バンドを破かないようにしてください。

2. 新しいバンドのサイズを選択します(17ページを参照)。イヤホンに合わせて、**R** (右) または **L** (左) のマークが付いたバンドを選択してください。

3. バンドのマークを手前に、ウィング部分を向こう側に向け、バンドの穴をイヤホンの通気孔に合わせます。

4. バンドを静かに伸ばしてイヤホンにかぶせます。バンドの穴とイヤホンの通気孔の位置を合わせて、バンド上部の突起がイヤホン上部の切り欠きに収まっていることを確認してください。

5. バンドがしっかりと収まるまで押し込み、位置が合っているかどうか確認します。



6. 必要に応じて、もう一方のイヤホンでも手順1～5を繰り返します。

   注: 左右の耳で異なるサイズのバンドが必要な場合もあります。

7. イヤホンを装着します(14ページを参照)。

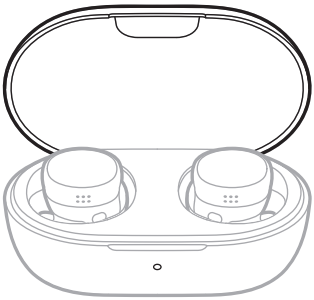
8. フィット状態をチェックします(15ページを参照)。

注: バンドの交換に関する解説ビデオは次のサイトをご参照ください。
support.Bose.com/QCE

電源オン

充電ケースを開きます。

イヤホンの電源がオンになります。ステータスインジケーターがイヤホンのバッテリー残量に応じて点灯します(38ページを参照)。

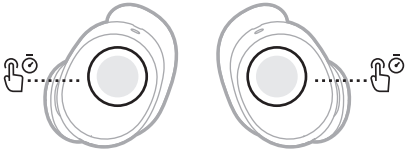


注:

- イヤホンは出荷時にフル充電されていません。初めてイヤホンを使用する場合は、バッテリーをアクティブ化するため、ステータスインジケーターが光り始めてから充電ケースのイヤホンを取り出してください。イヤホンを耳に装着しても音声ガイドが聞こえない場合は、イヤホンをケースに戻してから取り出してください。
- 充電ケースからイヤホンを取り出すときは、バッテリーの寿命を保ち、ケースにごみが入らないように、ケースを閉じてください。

イヤホンの使用中

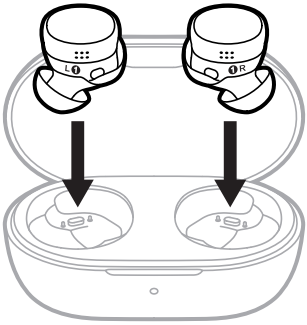
電源がオフになっているイヤホンを装着した場合は、左右のイヤホンにタッチして1秒間長押しします。ビープ音が聞こえ、イヤホンの電源がオンになります。



注: 左右のイヤホンは個別に電源をオンにする必要があります。

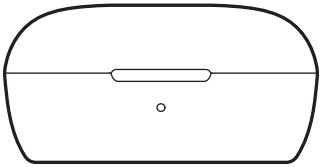
電源オフ

1. 両方のイヤホンを充電ケースに入れます。



2. ケースを閉じます。

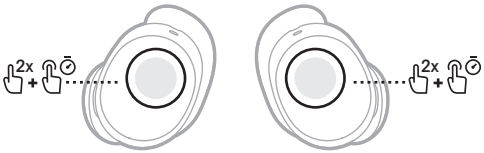
   ステータスインジケーターがイヤホンのバッテリー残量に応じて点灯します(38ページを参照)。イヤホンと機器の接続が解除され、電源がオフになります。



注: イヤホンと機器の接続が解除され、ノイズキャンセリングがオフになり、操作しないまま10分経過すると、イヤホンの電源はオフになります。

イヤホンの使用中

装着しているイヤホンの電源がオンになっている場合、左右どちらかのイヤホンを続けて2回タップしてから、ビープ音が聞こえるまで長押しします。イヤホンの電源がオフになります。



注: 左右のイヤホンは個別に電源をオフにする必要があります。

スタンバイ

イヤホンをケースから取り出して使用されない状態が続くと、スタンバイ機能が働き、イヤホンのバッテリーの消耗が抑えられます。イヤホンを耳から外して10分間動かさないでおくと、スタンバイ状態に切り替わります。

イヤホンをスタンバイ状態から復帰するには、イヤホンを耳に装着します。

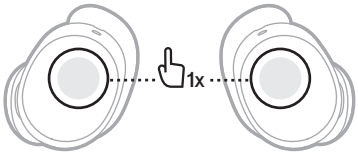
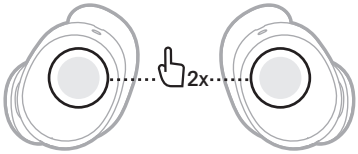
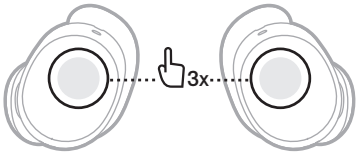
注: スタンバイ状態で30分経過すると、イヤホンの電源がオフになります。電源をオンにするには、充電ケースに入れてから耳に装着するか、耳に装着してからイヤホンにタッチして1秒間長押しします。

タッチセンサーは左右のイヤホンの外側にあります。タッチコントロールでは、音楽の再生/一時停止、音量の調節、基本的な通話機能、オーディオの調整、ノイズキャンセリングモードの変更などを行えます。

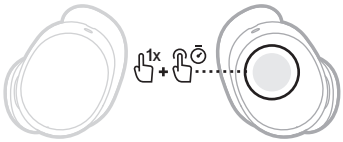
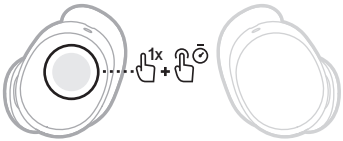
注:

- タッチコントロールを使用するには、イヤホンを耳に装着する必要があります。
- 左右どちらのイヤホンでも、メディアの再生や通話の操作が可能です。音量調節については、左右のイヤホンで操作する機能が異なります(25ページを参照)。
- Bose QCEアプリを使用して、タッチコントロール機能の一部を変更し、好みに合わせてカスタマイズできます(26ページを参照)。

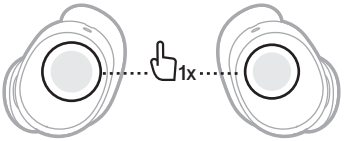
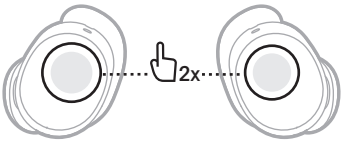
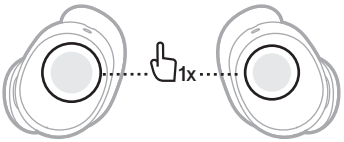
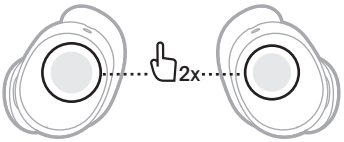
メディアの再生

コントロール	操作方法	
再生/一時停止	左右どちらかのイヤホンをタップします。	
次のトラックへ送る	左右どちらかのイヤホンを続けて2回タップします。	
前のトラックへ戻す	左右どちらかのイヤホンを続けて3回タップします。 **注記:** • トラックの冒頭でイヤホンを続けて3回タップすると、そのトラックが再スタートします。 • 機器によって動作が異なる場合があります。	

音量

コントロール	操作方法
音量を上げる	右イヤホンをタップして長押しします。 
音量を下げる	左イヤホンをタップして長押しします。 

通話

コントロール	操作方法
着信に応答する	左右どちらかのイヤホンをタップします。 
終話する/着信を拒否する	左右どちらかのイヤホンを続けて2回タップします。 
通話中の相手を保留にして割込み着信に応答する	左右どちらかのイヤホンをタップします。 
割込み着信を拒否して、現在の通話を続ける	左右どちらかのイヤホンを続けて2回タップします。 

通話をミュートする

通話をすばやくミュート/ミュート解除するには、Bose QCEアプリを使用します。このオプションにアクセスするには、製品コントロール画面の「クイックミュート」をタップし、タッチコントロールを割り当てます。

着信の通知

Bose QCEアプリの手順に従い、着信と通話の状態をアナウンスするようにデバイスを設定できます。手順にアクセスするには、製品コントロール画面の「スマートコール」をタップします。

注: この機能は、機器の設定メニューで有効にします。

サイドトーン

調整可能な音声増幅機能により、通話やゲーム中のチャットで自分の自然な声を聞きながら話せるようにするには、Bose QCEアプリを使用します。このオプションを管理するには、製品コントロール画面の「スマートコール」をタップします。

タッチコントロールのカスタマイズ

Bose QCEアプリを使用して、デフォルトのタッチコントロール機能の一部を変更し、好みに合わせてカスタマイズできます。このオプションにアクセスするには、製品コントロール画面の「タッチコントロール」をタップします。

ヒント: Bose QCEアプリの機能画面でタッチコントロールの一部を変更することもできます。

音声コントロールを使用する

声でイヤホンを操作できます。

注: 音声コントロールを使用するには、お使いの機器でBose QCEアプリを起動しておく必要があります(開いている状態またはバックグラウンドの状態)。

1. 「Hey headphones (ハロー、ヘッドホン)」と呼びかけます。

   ビープ音が聞こえます。

2. リクエストを言います。

コントロール	呼びかけ方
着信に応答する	Accept (応答) **注:** 着信に応答するとき、「Hey headphones (ハロー、ヘッドホン)」と言う必要はありません。
着信を拒否する	Reject (拒否) **注:** 着信を拒否するとき、「Hey headphones (ハロー、ヘッドホン)」と言う必要はありません。
音楽を再生する	Play (再生)
音楽を一時停止する	Pause (一時停止)
次のトラックへ送る	Next (次へ)
前のトラックへ戻す	Previous (戻る) **注記:** • トラックの冒頭で「Hey headphones, previous (ハロー、ヘッドホン。戻る)」と言うと、そのトラックが再スタートします。 • 機器によって動作が異なる場合があります。
音量を上げる	Volume up (音量を上げる) **注:** 音量をすばやく上げるには、「Hey headphones, volume plus *<n>* (ハロー、ヘッドホン。音量プラス *<n>*)」と言います(*n* は1、2、3、4、5のいずれか)。
音量を下げる	Volume down (音量を下げる) **注:** 音量をすばやく下げるには、「Hey headphones, volume minus *<n>* (ハロー、ヘッドホン。音量マイナス *<n>*)」と言います(*n* は1、2、3、4、5のいずれか)。

コントロール	呼びかけ方
アウェアモードをオンにする	Aware on (アウェア オン)
アウェアモードをオフにする	Aware off (アウェア オフ)
クワイエットモードをオンにする	Quiet on (クワイエット オン)
クワイエットモードをオフにする	Quiet off (クワイエット オフ)
写真を撮影する	Take photo (写真を撮る) **注:** 写真を撮影するには、お使いの機器でカメラアプリを開いている必要があります。
スマートフォンのアシスタント機能にアクセスする	Assistant (アシスタント) <*リクエスト*> (*リクエスト*では目的のアクションを言う)。

音声コントロールをカスタマイズする

イヤホンが自分の声だけに反応するようにするには、Bose QCEアプリを使用します。このオプションにアクセスするには、製品コントロール画面の「音声コントロール」をタップします。

音声コントロールを無効にする

音声コントロールを無効にするには、Bose QCEアプリを使用します。このオプションにアクセスするには、製品コントロール画面の「音声コントロール」または「設定」をタップします。

低遅延オーディオ

イヤホンと機器の間で低遅延*Bluetooth*オーディオを有効にし、完全に同期したオーディオでゲームや映画を楽しむことができます。イヤホンと機器が接続されるたびに有効にするか、1回のみ有効にするかを選択できます。

低遅延*Bluetooth*オーディオを有効にするには、Bose QCEアプリを使用します。このオプションにアクセスするには、製品コントロール画面の「低遅延オーディオ」をタップします。

低音と高音を調整する

低音と高音を調整して、オーディオの魅力を最大限に引き出したり、映像作品の台詞をより鮮明にしたりするには、Bose QCEアプリを使用します。このオプションにアクセスするには、製品コントロール画面の「EQ」をタップします。

装着検出では、センサーを使用して、両方または片方のイヤホンを装着していることを識別します。

片方のイヤホンを装着したり外したりすることで、音楽の再生/一時停止の切り替え、着信への応答、ノイズキャンセリング機能の調整が可能です。

自動再生/一時停止

片方のイヤホンを外すと、両方のイヤホンで音楽の再生が一時停止します。

再生を再開するには、イヤホンをもう一度装着します。

注: イヤホンを片方だけ使用する場合は、耳に装着している方のイヤホンをタップして音楽を再開できます。

着信自動応答

イヤホンを装着して電話に出ることができます。

ノイズキャンセリングの自動オフ機能

片方のイヤホンを外すと、もう片方のノイズキャンセリングモードはアウェアモードになります。

イヤホンを装着し直すと、耳に装着したイヤホンが以前のノイズキャンセリングモードに調整されます。

注: ノイズキャンセリングモードは片方のイヤホンで変更できます(31ページを参照)。

ノイズキャンセリングで周囲の不要なノイズを抑制することにより、よりクリアで臨場感のあるサウンドを再生できます。

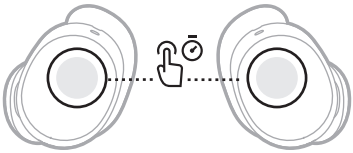
ノイズキャンセリングモードは、設定済みの「クワイエットモード」と「アウェアモード」の2種類から選択します。ノイズキャンセリングはオフにすることもできます。

ノイズキャンセリングモード

モード	説明
クワイエット（デフォルト）	最大のノイズキャンセリングレベルでBoseサウンドを楽しめます。最高レベルのノイズキャンセリング機能により、不快なノイズを遮断できます。
アウェア	最小のノイズキャンセリングレベルでBoseサウンドを楽しめます。音楽を楽しみながら周囲の音を聞くことができます。
オフ	バッテリーを節約できます。

ノイズキャンセリング機能のモード変更

1. ビープ音が聞こえるまで、左右いずれかのイヤホンをタッチして1秒間長押しします。



モードを知らせる音声ガイドが流れます。

2. 希望するモードの名前が聞こえるまで、手順を繰り返します。

ヒント： ノイズキャンセリングモードは、Bose QCEアプリを使用して変更することもできます。このオプションにアクセスするには、製品コントロール画面の「ノイズコントロール」をタップします。

ノイズキャンセリング機能のみを使用する

音楽や通話に妨げられることなく、ノイズキャンセリング機能のみを使用することができます。

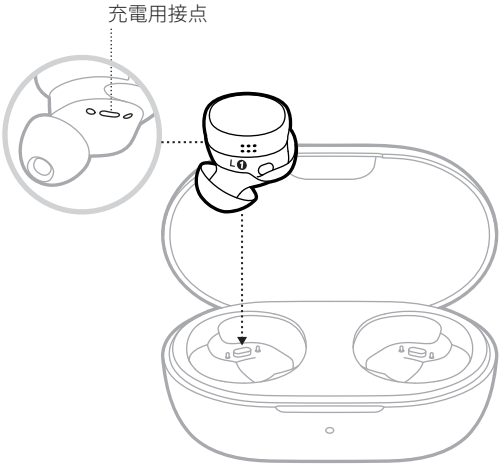
1. 次のいずれかを実行します。
   - イヤホンを装着している場合は、機器の接続を解除します(42ページを参照)。
   - イヤホンが充電ケースに入っている場合は、機器の*Bluetooth*機能をオフにします。その後、ケースからイヤホンを取り出して耳に装着します。
2. ノイズキャンセリングモードを変更します(31ページを参照)。

注: 機器を再接続するには、機器の*Bluetooth*リストからイヤホンを選択します。

イヤホンを充電する

注: 充電の前に、室温が8℃ ～ 39℃の範囲内であることを確認してください。

1. 左イヤホンの接点を充電ケース左側の充電端子の位置に合わせます。



2. イヤホンをケースに入れると、磁石の力で定位置に収まります。

   ステータスインジケーターがイヤホンのバッテリー残量に応じて点灯します(38ページを参照)。

3. 手順1と2を繰り返して、右イヤホンも充電します。

注:

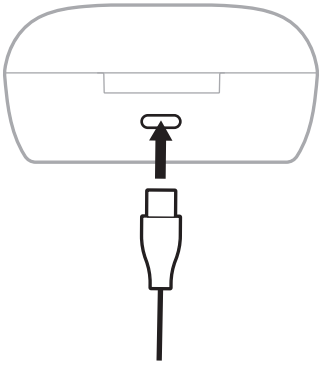
- イヤホンは、ケースが開いていても閉じていても充電されます。
- 充電ケースを閉じると、イヤホンと機器の接続が解除され、電源がオフになります。

充電ケースを充電する

注意: この製品には、法令(UL、CSA、VDE、CCCなど)に準拠したLPS電源アダプターのみをお使いください。

注: 充電する前に、充電ケースが室温(8℃ ～ 39℃)にあることを確認してください。

1. USBケーブルの小さい方のプラグを充電ケースの裏側にあるUSB-C®ポートに接続します。



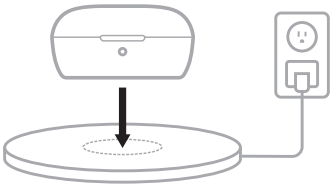
2. もう一方のプラグをUSB-Aウォールチャージャー (別売)またはパソコンに接続します。

   ステータスインジケーターが充電ケースの充電状態に応じて点灯します(38ページを参照)。

ワイヤレス充電

互換性のある他社製ワイヤレス充電器(別売)を使用してケースを充電できます。

ワイヤレス充電器の中央に直接充電ケースを置きます。



ステータスインジケーターが充電ケースの充電状態に応じて点灯します(38ページを参照)。

注: 詳しくは、ワイヤレス充電器の取扱説明書をご覧ください。

イヤホンの充電状態を確認する

イヤホンの使用中

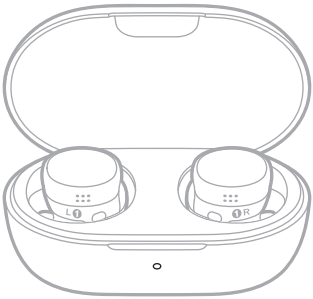
- 充電ケースからイヤホンを取り出して耳に装着すると、イヤホンのバッテリー残量を知らせる音声ガイドが流れます。
- Bose QCE アプリを使用します。イヤホンのバッテリー残量は製品コントロール画面に表示されます。

注: 片方のイヤホンのバッテリー残量がもう片方のイヤホンより低い場合、音声ガイドは低い方のバッテリー残量を通知します。バッテリー残量が低下すると、「バッテリー ロウ」と聞こえます。

ヒント: イヤホンの充電が必要になるまでの時間を予測することもできます。このオプションにアクセスするには、製品コントロール画面の「バッテリー予測」をタップします。

イヤホンの充電中

イヤホンを充電ケースに収納すると、ステータスインジケーターがバッテリー残量に応じて点灯します(38 ページを参照)。

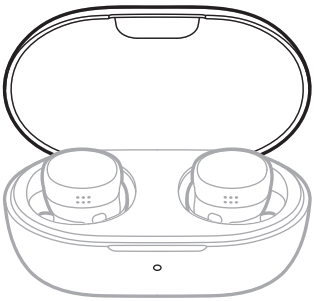


注: 片方のイヤホンのバッテリー残量がもう片方より低い場合、ステータスインジケーターは低い方のバッテリー残量を示します。

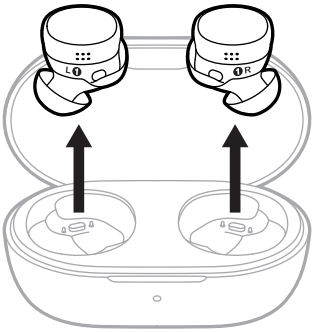
充電ケースのバッテリー残量を確認する

1. 充電ケースを開きます。

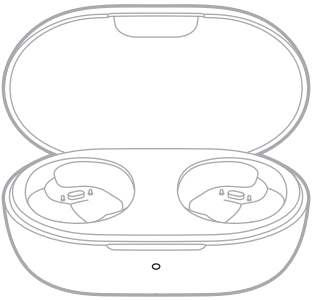
   ステータスインジケーターがイヤホンのバッテリー残量に応じて点灯します(38ページを参照)。



2. イヤホンをケースから取り出します。



   ステータスインジケーターが充電ケースのバッテリー残量に応じて点灯します(38ページを参照)。



充電時間

コンポーネント	充電時間
イヤホン	最大1.5時間[1]
充電ケース	最大2時間

注:

- イヤホンのバッテリー残量が少なくなった場合、20分の急速充電で最大3時間使用できます[2]。
- 完全に充電した場合、イヤホンを最大8.5時間使用できます[3]。
- 完全に充電されているケースでは、イヤホンを2.5回までフル充電でき、最長30時間のリスニングが可能です[4]。
- イヤホンがケースに収納されている場合は、ケースの充電時間がこれより長くなることがあります。

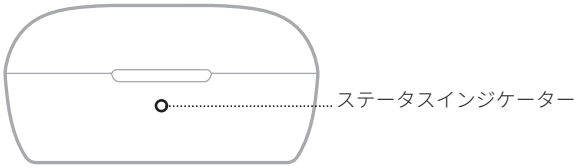
1 Bose QuietComfort EarbudsおよびBose QuietComfort Earbuds充電ケースの製品サンプルを使用して、2024年6月にBoseが実施したテスト結果。バッテリーが消耗した状態(オーディオ再生ができない状態)のイヤホンをフル充電された充電ケースに収納して20分間充電する急速充電テストを実施し、その後、音量をラウドネス75dB SPL、3バンドEQをゼロに設定して、クワイエットモード(フルノイズキャンセリング)で*Bluetooth* A2DPオーディオ再生を再開した結果、バッテリーが消耗するまでの再生時間は最大3時間でした。イヤホンが完全に充電されるまでの時間は、バッテリーが消耗した(オーディオ再生ができない)イヤホンをフル充電された充電ケースに収納し、イヤホンを100%充電することで求めました。バッテリー駆動時間は設定や使用状況によって異なります。

2 1.を参照。

3 Bose QuietComfort Earbudsの製品サンプルとIEC 60268-1ピンクノイズを使用し、A2DP *Bluetooth*オーディオを使用して2024年6月にBoseが実施したテスト結果。音量を再生ラウドネス75dB SPLに、3バンドEQをゼロに設定し、クワイエットモード(フルノイズキャンセリング)に設定。バッテリーが消耗するまでの再生時間は最大8.5時間でした。バッテリー駆動時間は設定や使用状況によって異なります。

4 2024年6月にBoseが実施したテスト結果。バッテリーが消耗した(オーディオ再生ができない) Bose QuietComfort Earbudsの製品サンプルをフル充電されたBose QuietComfort Earbuds充電ケースに収納し、イヤホンを100%まで充電した後、バッテリーが消耗するまでオーディオ再生を再開しました。テストの結果、フル充電ができなくなるまでに、ケースによる充電サイクルは2.5回完了しました。

ステータスインジケーターは、充電ケースの前面にあります。



バッテリー残量

充電ケース(イヤホンなし)

ケースが電源に接続されておらず、イヤホンがケースに収納されていない場合、充電ケースのバッテリー残量が表示されます。

インジケーターの表示	ケースのシステム状態
緑の点灯(5秒間)	バッテリー残量 高(81% ～ 100%)
オレンジの点灯(5秒間)	バッテリー残量 中(30% ～ 80%)
赤の点灯(5秒間)	バッテリー残量 低(1% ～ 29%)

イヤホン

充電ケースが電源に接続されておらず、イヤホンがケースに収納されている場合、イヤホンのバッテリー残量が表示されます。

インジケーターの表示	イヤホンのシステム状態
緑の点灯(5秒間)	充電完了
オレンジの遅い点滅(5秒間)	充電中

充電状態

充電ケース(イヤホンなし)

ケースが電源に接続され(USBケーブルまたはワイヤレス充電器)、イヤホンがケースに収納されていない場合、充電ケースの充電状態が表示されます。

インジケーターの表示	ケースのシステム状態
緑の点灯	充電完了
オレンジの遅い点滅	充電中

イヤホン

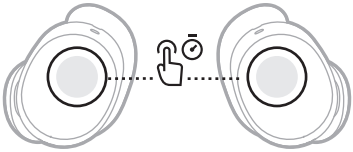
イヤホンがケースに収納され、ケースが電源に接続されている場合、イヤホンの充電状態が表示されます。

インジケーターの表示	ケースのシステム状態	イヤホンのシステム状態
緑の点灯	充電完了	充電完了
オレンジの遅い点滅	充電完了/充電中	充電中

イヤホンのデバイスリストには、機器を最大5台まで登録でき、同時に2台まで接続できます(マルチポイント接続)。ただし、一度に接続して音楽を再生できる機器は1台だけです。

機器に接続する

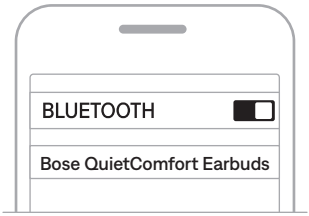
1. 「ペアリング準備完了」というメッセージが聞こえるまで、左右いずれかのイヤホンをタッチして4秒間長押しします。



注: 初めてイヤホンを機器に接続する場合は、ケースを開けて3秒待ってからイヤホンを取り外してください。取り出すと、すぐに接続できます。手順2に進んでください。

2. お使いの機器で*Bluetooth*設定を開きます。

3. 利用可能な製品のリストからイヤホンを選択します。



接続されている製品のリストにイヤホンが表示されます。

注: 最高の機能を引き出すには、イヤホンをBose QCEアプリに追加してください(12ページを参照)。

追加の機器を接続する

イヤホンは同時に2台の機器に接続できます(マルチポイント接続)。

追加の機器とペアリングする方法については、40ページをご覧ください。

注:

- ただし、一度に音楽を再生できる機器は1台だけです。
- 既に2台の機器が接続されている場合、新しい機器は接続されていた2台のうち古い方の機器に代わって接続されます。
- Bose QCEアプリを使用してマルチポイント接続機能を無効にするには、製品コントロール画面の「マルチポイント」をタップします。
- マルチポイント接続機能を無効にすると、2台目に接続した機器の接続が解除されます。

機器に再接続する

イヤホンをケースから取り出すと、イヤホンは最後に接続していた2台の機器に接続します。

注:

- 機器が通信範囲内(9 m)にあり、電源が入っている必要があります。
- 機器の*Bluetooth*機能が有効であることを確認します。
- イヤホンが15秒以内に以前に接続した機器に接続できない場合、新しい機器に接続できるようになります。

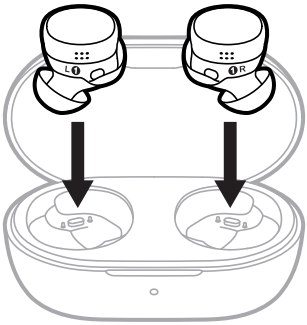
接続されている2台の機器を切り替える

1. 1台目の機器の再生を一時停止します。
2. 2台目の機器で音楽を再生します。

   イヤホンが2台目の機器からストリーミングされる音声に切り替わります。

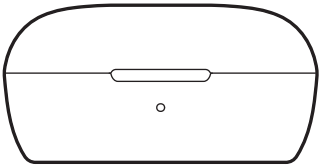
機器の接続を解除する

1. 両方のイヤホンを充電ケースに入れます。



2. ケースを閉じます。

   ステータスインジケーターがイヤホンのバッテリー残量に応じて点灯します(38ページを参照)。イヤホンと機器の接続が解除され、電源がオフになります。

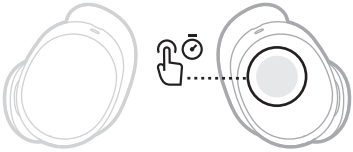


ヒント:

- Bose QCEアプリを使用して、2台目の機器の接続を解除することもできます。このオプションにアクセスするには、製品コントロール画面の「マルチポイント」をタップします。
- 機器の*Bluetooth*設定を使用することもできます。機器で*Bluetooth*機能を無効にすると、イヤホンやその他の*Bluetooth*接続機器との接続がすべて解除されます。
- Bose QCEアプリからイヤホンの接続を解除して、機器に接続したままにしておくこともできます。このオプションにアクセスするには、製品コントロール画面の中央にある製品名または画面右上の設定アイコンをタップします。このオプションはAndroid™デバイスには適用されません。

イヤホンのデバイスリストを消去する

1. イヤホンが機器に接続されていないことを確認します。
2. 「ペアリング準備完了」というメッセージとビープ音が聞こえるまで、右イヤホンをタッチして7秒間長押しします。ビープ音が聞こえたら指を放します。



すべての機器が消去され、イヤホンが新しい機器と接続可能な状態になります(40ページを参照)。

イヤホンを保管する

イヤホンを使用しないときは、充電ケースに収納します。バッテリーの寿命を保ち、ケースにごみが入らないように、ケースを閉じてください。

イヤホンと充電ケースのお手入れ

コンポーネント	手順
イヤーチップと固定バンド	イヤーチップとバンドをイヤホンから外します。外したイヤーチップとバンドは水で薄めた中性洗剤で洗ってください。 **注:** イヤーチップとバンドは、イヤホンに取り付ける前に水でよくすすぎ、十分に乾燥させてください。
イヤホンのノズル	乾いた柔らかい布か綿棒などを使って、そっと汚れを拭き取ってください。 **注意:** ノズルの開口部に清掃道具を差し込まないでください。
充電用接点(イヤホン)	腐食を防ぐために、乾いた柔らかい綿棒などで拭いてください。
充電ケース	乾いた柔らかい布か綿棒などを使って、そっと汚れを拭き取ってください。

交換部品とアクセサリー

交換部品とアクセサリーは、Bose製品取扱店、弊社Webサイト、またはお電話によるご注文でご購入いただけます。

次のサイトをご参照ください: support.Bose.com/QCE

保証

製品保証の詳細はworldwide.Bose.com/Warrantyをご覧ください。

製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイト(worldwide.Bose.com/ProductRegistration)から簡単に行えます。製品を登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

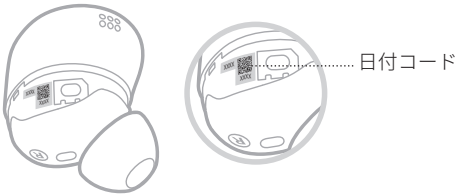
イヤホンをアップデートする

アップデートが利用可能になると、Bose QCEアプリの製品コントロール画面にメッセージが表示されます。アップデートを開始するには、メッセージをタップして、アプリに表示される手順に従います。

イヤホンの日付コードを確認する

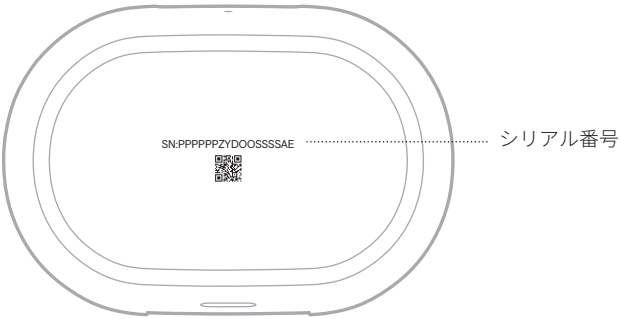
イヤホンから固定バンドを外します(19ページを参照)。

日付コードは、イヤホンの広い部分に記載されています。



充電ケースのシリアル番号を確認する

充電ケースのシリアル番号はケースの底面にあります。



最初にお試しいただくこと

イヤホンに問題が生じた場合は、まず下記の点をご確認ください。

- イヤホン(33ページを参照)と充電ケース(34ページを参照)を充電します。
- イヤホンの電源をオフにしてから(22ページを参照)、再度オンにします(21ページを参照)。
- ステータスインジケーターを確認します(38ページを参照)。
- お使いの機器が*Bluetooth*接続に対応していることを確認します(40ページを参照)。
- Bose QCEアプリをダウンロードして、入手可能なソフトウェアのアップデートを実行します(12ページを参照)。
- 機器を干渉源や障害物から離して、イヤホンに近づけます(9 m以内)。
- イヤホン、機器、音楽再生アプリの音量を上げます。
- 別の機器を接続します(41ページを参照)。

その他の対処方法

問題が解決しない場合は、次の表を参照して一般的な問題の症状と対処方法をご確認ください。トラブルシューティングの記事、ビデオ、その他のリソースにアクセスすることもできます。support.Bose.com/QCE

それでも問題が解決できない場合は、Boseカスタマーサービスまでお問い合わせください。

次のサイトをご参照ください: worldwide.Bose.com/contact

症状	対処方法
イヤホンの電源が入らない	初めてイヤホンを使用する場合は、バッテリーをアクティブ化するため、ステータスインジケーターが光り始めてから充電ケースのイヤホンを取り出してください。両方のイヤホンをケースに戻してから、取り出します。 両方のイヤホンを充電ケースに入れて、磁石の力で定位置に収めます。ケースを閉じてから、もう一度開きます。ステータスインジケーターが点灯します(38ページを参照)。 電源がオフになっているイヤホンを装着した場合は、左右のイヤホンにタッチして1秒間長押しし、電源をオンにします。左右のイヤホンは個別に電源をオンにする必要があります。 イヤホンが非常に高温または低温の場所に置かれていた場合は、室温に戻してください。 イヤホンがスタンバイモードになっていないか確認します。イヤホンをスタンバイ状態から復帰するには、イヤホンを耳に装着します。 「イヤホンを充電できない」(53ページ)をご覧ください。

症状	対処方法
イヤホンと機器を接続できない	両方のイヤホンを充電ケースに入れて、磁石の力で定位置に収めます。ケースを閉じてから、もう一度開きます。ステータスインジケーターが点灯します(38ページを参照)。もう一度接続してみます(40ページを参照)。 機器の*Bluetooth*機能をオフにしてから、もう一度オンにします。 イヤホンのデバイスリストを消去します(43ページを参照)。機器の*Bluetooth*リストからイヤホンを削除します(Low Energy (LE)ラベルの付いた重複項目も含む)。もう一度接続してみます(40ページを参照)。 support.Bose.com/QCEにアクセスして、解説ビデオを参照します。 イヤホンを再起動します(55ページを参照)。うまくいかない場合は、イヤホンを工場出荷時の設定に戻します(55ページを参照)。
イヤホンとBose QCEアプリの接続が解除される	お使いの機器でBose QCEアプリのスリープモードが無効であることを確認します。詳細については、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
アプリでのセットアップ中にイヤホンが反応しない	機器の設定メニューで、*Bluetooth*機能が有効であることを確認します。 Bose QCEアプリを使用していることを確認します(12ページを参照)。 機器の設定メニューで、Bose QCEアプリが*Bluetooth*接続にアクセスできるようになっていることを確認します。 Bose QCEアプリを終了してから再起動します。 機器のBose QCEアプリをアンインストールします。アプリを再インストールします(12ページを参照)。
Bose QCEアプリでイヤホンを検出できない	Bose QCEアプリを使用していることを確認します(12ページを参照)。 機器の設定メニューで、Bose QCEアプリが*Bluetooth*接続にアクセスできるようになっていることを確認します。 両方のイヤホンを充電ケースに入れて、磁石の力で定位置に収めます。ケースを閉じてから、もう一度開きます。ステータスインジケーターが点灯します(38ページを参照)。イヤホンを取り出します。 機器の*Bluetooth*メニューを使用してイヤホンを接続してから、Bose QCEアプリを開きます。 以前イヤホンが接続されていたパソコンでMicrosoft Teamsが実行されている場合は、Microsoft Teamsアプリを終了します。それでも問題が解決しない場合は、そのパソコンで*Bluetooth*機能をオフにするか、*Bluetooth*の通信範囲(9 m)から離れます。 「イヤホンと機器を接続できない」をご覧ください。 機器のBose QCEアプリをアンインストールします。アプリを再インストールします(12ページを参照)。

症状	対処方法
機器でBose QCEアプリが動作しない	Bose QCEアプリを使用していることを確認します(12ページを参照)。 お使いの機器がBose QCEアプリに対応しており、システム最小要件を満たしていることを確認します。詳細については、機器のアプリストアをご参照ください。 機器のBose QCEアプリをアンインストールします。アプリを再インストールします(12ページを参照)。
イヤーチップが耳の穴にフィットしない	イヤーチップが耳の穴の奥に入りすぎていないことを確認します(15ページを参照)。 大きなサイズのイヤーチップを試してみてください。改善されない場合は、小さなサイズのイヤーチップを試してみてください(18ページを参照)。 小さなサイズの固定バンドを試してみてください(19ページを参照)。 鏡を使ってイヤホンのフィット状態をチェックします(15ページを参照)。 support.Bose.com/QCEにアクセスして、解説ビデオを参照します。
固定バンドが耳の溝にフィットしない	小さなサイズの固定バンドを試してみてください(19ページを参照)。既に一番小さな固定バンドをお使いの場合は、小さなサイズのイヤーチップを試してみてください(18ページを参照)。 鏡を使ってイヤホンのフィット状態をチェックします(15ページを参照)。 support.Bose.com/QCEにアクセスして、解説ビデオを参照します。
イヤホンが耳にしっかりと収まらない	イヤーチップが耳の穴の入り口にやさしく収まっていることを確認します(14ページを参照)。 大きなサイズの固定バンドを試してみてください(19ページを参照)。 大きなサイズのイヤーチップを試してみてください(18ページを参照)。 support.Bose.com/QCEにアクセスして、解説ビデオを参照します。
イヤーチップが外れる	イヤーチップがイヤホンにしっかりと装着されていることを確認します(18ページを参照)。
固定バンドが外れる	バンドがイヤホンにしっかりと装着されていることを確認します(19ページを参照)。 イヤホン上でバンドが正しい位置にあることを確認します(19ページを参照)。
***Bluetooth*接続が途切れる**	お使いの機器をイヤホンに近づけます。 イヤホンのデバイスリストを消去します(43ページを参照)。機器の*Bluetooth*リストからイヤホンを削除します(Low Energy (LE)ラベルの付いた重複項目も含む)。もう一度接続してみます(40ページを参照)。 イヤホンを再起動します(55ページを参照)。うまくいかない場合は、イヤホンを工場出荷時の設定に戻します(55ページを参照)。

症状	対処方法
音が出ない	鏡を使ってイヤホンのフィット状態をチェックします(15ページを参照)。 左右の耳で適切なサイズのイヤーチップと固定バンドを使用していることを確認します(17ページを参照)。 左右のイヤホンがしっかりと耳に収まっており、後ろに回しすぎていないことを確認します(14ページを参照)。 イヤホンを装着するときは頭をまっすぐにしてください。 音量が上がっていることを確認します(24ページを参照)。 機器の再生ボタンを押して、音楽が再生されていることを確認します。 別のアプリケーションまたは音楽サービスからオーディオを再生します。 機器に直接保存しているコンテンツを再生します。 機器が2台接続されている場合は、2台目の機器で再生を一時停止します。 機器が2台接続されている場合は、2台目の機器で再生を一時停止し、1台目の機器で音楽を再生します。 イヤーチップやイヤホンのノズルの先端にごみなどが詰まっていれば取り除きます。 イヤホンが充電済みで、イヤホンの充電用接点やケースの充電端子に汚れやごみが付着していないことを確認します。 support.Bose.com/QCEにアクセスして、解説ビデオを参照します。 機器を再起動します。
片側のイヤホンから音が出ない	鏡を使ってイヤホンのフィット状態をチェックします(15ページを参照)。 左右の耳で適切なサイズのイヤーチップと固定バンドを使用していることを確認します(17ページを参照)。 左右のイヤホンがしっかりと耳に収まっており、後ろに回しすぎていないことを確認します(14ページを参照)。 イヤホンを装着するときは頭をまっすぐにしてください。鏡を使ってイヤホンのフィット状態をチェックします(15ページを参照)。 Bose QCEアプリのソフトウェアが最新であることを確認します(45ページを参照)。 イヤーチップやイヤホンのノズルの先端にごみなどが詰まっていれば取り除きます。 イヤホンが充電済みで、イヤホンの充電用接点やケースの充電端子に汚れやごみが付着していないことを確認します。 両方のイヤホンを充電ケースに入れて、磁石の力で定位置に収めます。ケースを閉じてから、もう一度開きます。ステータスインジケーターが点灯します(38ページを参照)。イヤホンを取り出します。 support.Bose.com/QCEにアクセスして、解説ビデオを参照します。

症状	対処方法
音質が悪い	鏡を使ってイヤホンのフィット状態をチェックします(15ページを参照)。 左右の耳で適切なサイズのイヤーチップと固定バンドを使用していることを確認します(17ページを参照)。 Bose QCEアプリを使用してセットアップしていることを確認します(12ページを参照)。 別の曲を試してみてください。 別のアプリケーションまたは音楽サービスからオーディオを再生します。 イヤーチップやイヤホンのノズルの先端にごみなどが詰まっていれば取り除きます。 機器が2台接続されている場合は、2台目の機器の接続を解除します。 機器や音楽再生アプリのオーディオ拡張機能をオフにします。 イヤホンの接続で正しい*Bluetooth*プロファイル(Stereo A2DP)が使用されていることを確認します。お使いのモバイル機器の*Bluetooth*/オーディオ設定メニューで、正しいオーディオプロファイルが選択されていることを確認してください。 機器の*Bluetooth*機能をオフにしてから、もう一度オンにします。 イヤホンのデバイスリストを消去します(43ページを参照)。機器の*Bluetooth*リストからイヤホンを削除します(Low Energy (LE)ラベルの付いた重複項目も含む)。もう一度接続してみます(40ページを参照)。 support.Bose.com/QCEにアクセスして、解説ビデオを参照します。
マイクが音を正常に拾わない	イヤホンを前後に回しすぎていないことを確認します(14ページを参照)。マイクの音質を最もよくするには、イヤホンが口やあごの方に向くように角度を付けます。 イヤホン上で固定バンドが正しい位置にあることを確認します(19ページを参照)。バンドの位置が正しくない場合、マイクを遮ってしまうことがあります。 もう一度電話をおかけ直しください。 対応している別の機器で試してみてください。 機器の*Bluetooth*機能をオフにしてから、もう一度オンにします。 イヤホンのデバイスリストを消去します(43ページを参照)。機器の*Bluetooth*リストからイヤホンを削除します(Low Energy (LE)ラベルの付いた重複項目も含む)。もう一度接続してみます(40ページを参照)。

症状	対処方法
オーディオとビデオが同期していない	Bose QCEアプリを使用して、イヤホンと機器の間の低遅延*Bluetooth*オーディオを有効にします。このオプションにアクセスするには、製品コントロール画面の「低遅延オーディオ」をタップします。 アプリケーションまたは音楽サービスを閉じてから再度開きます。 別のアプリケーションまたは音楽サービスからオーディオを再生します。 両方のイヤホンを充電ケースに入れて、磁石の力で定位置に収めます。ケースを閉じてから、もう一度開きます。ステータスインジケーターが点灯します(38ページを参照)。イヤホンを取り出します。
ノイズキャンセリングモードを調整できない	両方のイヤホンを充電ケースに入れて、磁石の力で定位置に収めます。ケースを閉じてから、もう一度開きます。ステータスインジケーターが点灯します(38ページを参照)。イヤホンを取り出します。 「イヤホンのタッチコントロールが反応しない」(52ページ)をご覧ください。 Bose QCEアプリを使用して、ノイズキャンセリングモードを調整します。このオプションにアクセスするには、製品コントロール画面の「ノイズコントロール」をタップします。
低音や高音を調節できない	Bose QCEアプリのEQ画面で、右にスクロールしてすべてのオプションを表示します(EQオプションは左に移動します)。
ノイズキャンセリング機能の効果が弱い	鏡を使ってイヤホンのフィット状態をチェックします(15ページを参照)。 両方のイヤホンを充電ケースに入れて、磁石の力で定位置に収めます。ケースを閉じてから、もう一度開きます。ステータスインジケーターが点灯します(38ページを参照)。イヤホンを取り出します。 モードをチェックします(31ページを参照)。 イヤホンを耳から外し、再度装着します。 通話中または機器の音声コントロールを使用している場合は、Bose QCEアプリを使用して、音声増幅機能を下げるかオフにします(26ページを参照)。 イヤホンを再起動します(55ページを参照)。うまくいかない場合は、イヤホンを工場出荷時の設定に戻します(55ページを参照)。
通話中に相手の声が聞こえにくい	機器の音量を上げます。 Bose QCEアプリを使用して、サイドトーンを調整します(26ページを参照)。 別のモードを試してみてください(31ページを参照)。
通話中に自分の声が聞こえにくい	モードをアウェアモードに変更します(31ページを参照)。 Bose QCEアプリを使用して、自分の自然な声が聞こえるようにします。このオプションにアクセスするには、製品コントロール画面の「スマートコール」をタップします。

症状	対処方法
イヤホンのタッチコントロールが反応しない	イヤホンを耳に装着していることを確認します。 タッチセンサー部分を正しくタッチしていることを確認します(25ページを参照)。 指がタッチコントロール部分にしっかり触れていることを確認します(25ページを参照)。 指が濡れていないことを確認します。 髪が濡れている場合は、髪がタッチセンサーに触れないようにしてください。 手袋を着用している場合は、手袋を外してからタッチセンサーに触れてください。 続けてタップする機能の場合は、タップする強さを変えてみます。 Bose QCEアプリを使用して、タッチコントロール機能の一部を変更し、好みに合わせてカスタマイズできます(26ページを参照)。 support.Bose.com/QCEにアクセスして、解説ビデオを参照します。 両方のイヤホンを充電ケースに入れて、磁石の力で定位置に収めます。ケースを閉じてから、もう一度開きます。ステータスインジケーターが点灯します(38ページを参照)。イヤホンを取り出します。 イヤホンが非常に高温または低温の場所に置かれていた場合は、室温に戻してください。 イヤホンを再起動します(55ページを参照)。うまくいかない場合は、イヤホンを工場出荷時の設定に戻します(55ページを参照)。
イヤホンが音声コントロールに反応しない	必ずビープ音が聞こえてからリクエストを話してください。 お使いの機器でBose QCEアプリが実行されていることを確認します(開いている状態またはバックグラウンドの状態)。 お使いの機器でBose QCEアプリのスリープモードが無効であることを確認します。詳細については、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。 イヤホンがアップデート中でないことを確認します。
写真を撮影できない	お使いの機器がヒューマンインターフェースデバイス(HID)プロファイルをサポートし、HIDヘッドセットリモコンに対応していることを確認します。詳細については、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
音量を調節できない	タッチセンサー部分を正しくタッチしていることを確認します(25ページを参照)。 正しいイヤホンをタップしていることを確認します(25ページを参照)。 「イヤホンのタッチコントロールが反応しない」(52ページ)をご覧ください。

症状	対処方法
イヤホンを充電できない	イヤホンが充電ケースに正しく収納されていることを確認します。バッテリーの寿命を保つために、イヤホンを充電している間はケースを閉じてください(33ページを参照)。 イヤホンの充電用接点やケースの充電端子に汚れやごみが付着していないことを確認します。 イヤホン上で固定バンドが正しい位置にあることを確認します(19ページを参照)。バンドの位置が正しくない場合、イヤホンの充電用接点とケースの充電端子の位置が合わないことがあります。 USBケーブルが充電ケースの端子にしっかりと接続されていることを確認します。 USBケーブルの両端をしっかりと接続し直します。 別のUSBケーブル、ウォールチャージャー、または電源を試してみてください。 イヤホンや充電ケースが非常に高温または低温の場所に置かれていた場合は、室温に戻してください。もう一度充電してみます(33ページを参照)。 ワイヤレス充電器を使用する場合は、充電時にワイヤレス充電が完全に行われるようにするため、充電ケースをワイヤレス充電器の中央に直接置いてください。
充電ケースを充電できない	USBケーブルが充電ケースの端子にしっかりと接続されていることを確認します。 充電ケースのバッテリーが消耗している場合は、接続されているUSBケーブルの長さが十分であることを確認し、初期充電を行います。ケーブルを外して、充電ケースのステータスインジケーターが消えたら、USBケーブルを接続し直してください。 USBケーブルの両端をしっかりと接続し直します。 別のUSBケーブル、ウォールチャージャー、または電源を試してみてください。 充電ケースが閉じていることを確認します。バッテリーの寿命を保つために、充電中はケースを閉じてください。 充電ケースが非常に高温または低温の場所に置かれていた場合は、室温に戻してください。もう一度充電してみます(34ページを参照)。 ワイヤレス充電器を使用する場合は、充電時にワイヤレス充電が完全に行われるようにするため、充電ケースをワイヤレス充電器の中央に直接置いてください。

症状	対処方法
音声ガイドの言語が正しくない	Bose QCEアプリを使用して音声ガイドの言語を変更します。このオプションは設定メニューから設定できます。
着信が通知されない	機器がおやすみモードに設定されていないことを確認します。 Bose QCEアプリで発信者通知が有効になっていることを確認します。このオプションにアクセスするには、製品コントロール画面の「スマートコール」をタップします。 機器の*Bluetooth*メニューで、イヤホンが連絡先にアクセスできるように設定されていることを確認します。
イヤホンから変な音が聞こえる	イヤホンのノズルが詰まっていないか確認します(18ページを参照)。 イヤーチップがイヤホンに正しく装着されていることを確認します(18ページを参照)。 固定バンドがイヤホンに正しく装着されていることを確認します(19ページを参照)。

イヤホンを再起動する

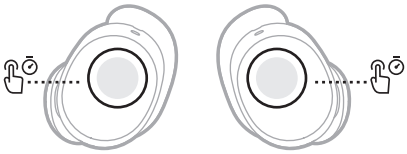
イヤホンが反応しない場合は、再起動することができます。

注: イヤホンを再起動しても設定は消去されません。

1. ビープ音が聞こえるまで、左右のイヤホンをタッチして15秒間長押しします。

   イヤホンの電源がオフになります。

   注: 左右のイヤホンは個別に電源をオフにする必要があります。



2. 左右のイヤホンを1秒間長押しします。

   ビープ音が聞こえ、イヤホンの電源がオンになります。

   注: 左右のイヤホンは個別に電源をオンにする必要があります。

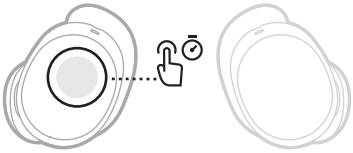
イヤホンを出荷時の設定に戻す

工場出荷時の設定に戻すと、すべての設定が消去され、イヤホンが箱から出したときの状態に戻ります。その後、初めてイヤホンをセットアップするときのように設定することができます。

工場出荷時の設定へのリセットは、イヤホンに問題がある場合や、Boseカスタマーサービスから指示された場合にのみ行うようにしてください。

1. イヤホンが機器に接続されていないことを確認します。

2. 「ペアリング準備完了」というメッセージとビープ音が聞こえるまで、左イヤホンをタッチして7秒間長押しします。ビープ音が聞こえたら指を放します。



   これでイヤホンは、箱から出したときの状態に戻っています。

891405-0010

©2024 Bose Corporation, 100 The Mountain Road, Framingham, MA 01701-9168 USA
AM891405-0010 Rev. 01